

報道関係各位  
企画展のご案内

南桂子の世界展

20 没後  
年 後  
詩と出会う旅



《2人の少女と蝶》1979年 エッチング、サンドペーパー 32.0×28.3cm  
ミゼ浜口陽三・ヤマサコレクション蔵

高志の国文学館  
KOSHINOKUNI  
Museum of Literature

2024.12.7(土) ▶ 2025.2.11(火・祝)

開館時間 / 9:30~18:00 (観覧受付は17:30まで) ※12月7日(土)は10:40開場

休館日 / 最終日以外の毎週火曜日、2024年12月29日(日)~2025年1月3日(金)

観覧料 / 一般400円(320円)、大学生200円(160円)、前売り・一般320円 (裏面をご覧ください)

※( )内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。

※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。

主催 / 高志の国文学館 共催 / 北日本新聞社、チューリップテレビ

協力 / ミゼ浜口陽三・ヤマサコレクション、香希画廊

展覧会チラシ

広報に関するお問い合わせ：高志の国文学館 事業課 今村・亀島  
〒930-0095 富山県富山市舟橋南町 2-22 TEL 076-431-5492 / FAX 076-431-5490

## Summary

船はポーッと汽笛をならしました。さあ、出発!! 南桂子「船の旅」より

南桂子（1911-2004）は、現在の富山県高岡市に生まれ、県立高岡高等女学校では絵画制作や詩作に親しむ多感な少女時代を過ごしました。戦後まもなく上京し、銅版画と出会った南は、パリやサンフランシスコなど海外で活躍し、森の中の城、塔、少女や小鳥などをモチーフに、繊細で詩情あふれる銅版画作品を残しました。

銅版画家になる前の一時期、南は壺井栄に師事し、童話作家を志していたことがありました。新聞に掲載された作品のほか、遺品の巾着箱の中から詩や童話を書きつけた原稿用紙も見つかっており、南桂子のもうひとつの作品世界をのぞき見ることができます。

没後 20 年を機に開催する本展では、銅版画作品と自作の童話や詩、詩人たちのことばをとおして、南桂子の世界を旅します。

## Profile

### 南桂子 Keiko MINAMI

1911 年（明治 44 年）、2 月 12 日 富山県射水郡下関村中川（現在の高岡市中川）に父・達吉、母きよの三女として生まれる。両親は幼少の頃に亡くなり、親族によって育てられた。祖父・兵吉は、第 2 代富山県会議長。祖母・節子は高峰譲吉の妹である。また、叔父に、富山県出身者として初の大臣となった南弘、高岡市長を 2 期務めた南慎一郎がいる。1924 年（大正 13 年）に富山県立高岡高等女学校（現在の富山県立高岡高等学校）に入学。在学中より絵画制作に興味をもち、また詩作も試みる。当時は 4 年制のため 1928 年（昭和 3 年）同校卒業。卒業後は歌人・今井邦子主宰の「明日香」や詩人・前田鉄之助主宰の「詩洋」に参加。金沢アララギ歌会や歌人・廣川親義主宰の「短歌時代」創刊号でも短歌を詠んでいる。終戦後、東京に定住。佐多稲子の紹介により、壺井栄に童話を学ぶ。森芳雄のアトリエに通い油彩画を学ぶ。浜口陽三と知り合い、銅版画に興味を持つ。1953 年（昭和 28 年）42 歳で渡仏。フリードランデルの版画教室で銅版画を学ぶ。1961 年（昭和 36 年）にパリでピカソやミロなどを取り扱うベルグラン画廊と専属契約を結ぶ。1982 年（昭和 57 年）にサンフランシスコに移るまでパリに定住。1996 年（平成 8 年）に帰国。2004 年（平成 16 年）12 月 1 日に心不全のため逝去。享年 93。

ニューヨーク近代美術館のクリスマスカードに《羊飼の少女》、ユニセフのグリーティングカードに《平和の木》、ユニセフのカレンダーに《子供と花束と犬》が採用されるなど海外で活躍したほか、国内でも、谷川俊太郎のエッセイや詩集をはじめさまざまな書籍の表紙を飾ったり、帝国ホテルの全客室に作品が飾られたりするなど、南桂子の銅版画は多くの人々に親しまれている。

## Outline

展覧会名	没後 20 年 詩と出会う旅 南桂子の世界展
会 期	2024 年（令和 6 年）12 月 7 日（土）～2025 年（令和 7 年）2 月 11 日（火・祝）
会 場	高志の国文学館 〒930-0095 富山県富山市舟橋南町 2-22
開館時間	9：30～18：00（観覧受付は 17：30 まで）※12 月 7 日（土）は 10:40 開場
休 館 日	最終日以外の毎週火曜日、2024 年 12 月 29 日（日）～2025 年 1 月 3 日（金）
観 覧 料	一般 400 円（320 円）、大学生 200 円（160 円）、前売り・一般 320 円 ※（ ）内は 20 人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます ※児童・生徒（小・中学生、高校生など）、各種障害者手帳をお持ちの方は無料
主 催	高志の国文学館
共 催	北日本新聞社、チューリップテレビ
協 力	ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション、香希画廊
展覧会担当	高志の国文学館 事業課 主任 亀島 麻衣子（かめしま まいこ）

## Theme

### 序章 南桂子の息吹

色鉛筆やカラーペンなどの画材や南桂子の作品のイメージの源泉となった図鑑、ブランドや石の価値に関係なく好みの色や形で蒐集し身に着けていたアクセサリーやパリ時代の写真など、南の息吹を感じる資料を展示します。

### 第1章 詩と童話の世界

南の遺品の中着箱には童話や詩を書きつけた原稿用紙が詰まっていた。新聞に掲載された童話やパリへの渡航中に書かれたと思われる詩や故郷の富山の風景が感じられる童話など、南の文芸活動を紹介します。

### 第2章 銅版画の世界

南の才能が花開いた銅版画作品を展示し、国内外での活躍を紹介します。また、南の作品が表紙を飾る書籍の展示、1970年に南の銅版画と詩人の詩をコラボレートさせたページを毎号の扉絵とした雑誌「装苑」の試みも紹介します。

### 第3章 銅版画と詩の世界

南の真摯な制作姿勢、繊細で詩情あふれる銅版画は詩人の感性を刺激します。谷川俊太郎が南に捧げた詩、蜂飼耳や文月悠光が南の銅版画によせた詩、小川洋子が南の作品世界について書いた随筆、水沢なおや最果タヒの書き下ろし作品を展示します。

## Topics

#### 1 響きあう画と詩—南桂子の銅版画と詩とのコラボレーション

南桂子自身の文芸活動についての資料や南桂子作品が表紙を飾る書籍、詩人たちの詩と取り合わせたパネルなどを展示します。また、南の銅版画と富山ゆかりの詩人である池田瑛子自身のセレクトと朗読で構成した映像を上映します。

#### 2 南桂子の自作童話の手書き原稿の初公開

死後に見つかった中着箱に詰められていた原稿の中から、故郷である富山の風景が感じられる童話「チロ星」と「山のいただき（未完成）」の原稿を初公開します。また、現在見つかった童話の一覧や短歌や詩などの文芸活動について紹介します。

#### 3 水沢なおが選んだ銅版画と新作詩の展示

今回の企画展のために、水沢なお（第25回中原中也賞）が自ら1枚の銅版画を選んで書き下ろした新作の詩を展示します。

#### 4 最果タヒが選んだ自作詩と新作エッセイの展示

最果タヒ（第32回萩原朔太郎賞）が南桂子作品に合わせて自らセレクトした自作詩を展示します。また、今回の企画展のために書き下ろした新作のエッセイを展示します。

#### 5 南桂子の繊細で詩情あふれる銅版画の世界

ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクションや香希画廊、県立高岡高等学校、当館館長・室井滋所蔵の南桂子作品を特別出品いたします。

資料総数 130点以上 うち銅版画等作品 25点

## Events

### (1) 講演&サイン会「詩の海はどこまでも広がっていく」

[講 師] 水沢なお氏 (詩人)  
 [日 時] 12月7日(土) 14:00~15:30  
 [会 場] 当館 研修室 101  
 ◎申込必要 ◎定員 100名 ◎参加無料

### (2) 講演「南桂子 銅版画の魅力」

[講 師] 神尾玲子氏 (群馬県立近代美術館 次長兼学芸係長)  
 [日 時] 1月12日(日) 14:00~15:30  
 [会 場] 当館 研修室 101  
 ◎申込必要 ◎定員 100名 ◎参加無料

### (3) 高校生による朗読劇「南桂子の童話と出会う旅」

[出 演] 県立高岡高等学校 放送部と演劇部のみなさん  
 [日 時] 1月26日(日) 14:00~15:30  
 [会 場] 当館 研修室 101  
 ◎申込必要 ◎定員 各100名 ◎参加無料

### (4) 展示担当者によるギャラリートーク (展示解説)

[日 時] 12月14日(土)、1月19日(日)、2月2日(日)、2月9日(日)  
 各回 14:00~ (30分程度)  
 [会 場] 当館 企画展示室  
 ◎申込不要 ◎要観覧券

#### ■申込方法

電話・FAX・WEB 申込フォームにて、イベント名(複数可)と氏名、電話番号を高志の国文学館までお知らせください。

※定員に達し次第、募集を終了します。

※FAXでのお申込みで、定員に達している場合のみ当館からご連絡いたします。



<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=0U1AhxgC>

## Highlight

### ■主な出品作品および資料

南桂子銅版画《少女》1954年（香希画廊蔵）  
※1956年11月18日付ニューヨークタイムズに掲載

南桂子銅版画《平和の木》1957年ころ（★）  
※1958年ユニセフのグリーティングカードに使用

南桂子銅版画《子供と花束と犬》1963年（★）  
※1966年ユニセフのカレンダーに使用

南桂子銅版画《風車》1989年（香希画廊蔵）  
※帝国ホテルの依頼で制作され、今も客室に飾られている

南桂子銅版画《風景》1954年（室井滋蔵）  
南桂子素描（猫を抱く少女）制作年不明（室井滋蔵）

ほか 銅版画・素描 25点

手書きの原稿が詰められていた巾着箱（★）※南桂子の死後に発見された

**初公開**南桂子直筆原稿「チロ星」（★）※富山を舞台にして書いたと思われる童話

**初公開**南桂子直筆原稿「山のいただき」（★）※幼少期をもとに書いたと思われる未完成童話  
※上記初公開童話タイトルはどちらもミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクションでつけた仮題

**書下ろし**詩人・水沢なおによる新作詩  
※南桂子の銅版画を直に見た中から《山と鳥》（★）を選んで、作詩いただいた

**書下ろし**詩人・最果タヒによるエッセイ  
※南桂子の素描作品と合わせる自作詩を自らセレクトし、エッセイを執筆いただいた

### 映像

※南桂子の銅版画の画像と詩人・池田瑛子の詩と朗読を取り合わせて制作

アクセサリー20点（★）

※ブランドや石の価値に関係なく好みの色や形で蒐集し身に着けていた腕輪やネックレスを展示

など 資料総数 130点以上  
（★）はすべてミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション蔵

# Images



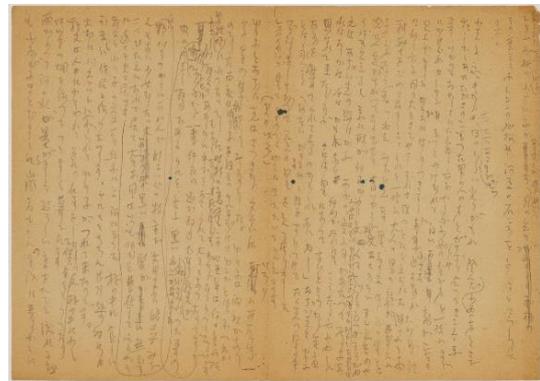
1 南桂子 1950年代パリのアトリエにて  
(ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション蔵)



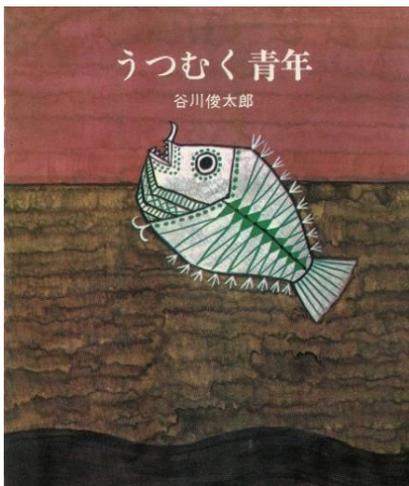
2 生前に蒐集したアクセサリ  
(ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション蔵)



3 手書きの原稿が詰められていた巾着箱  
(ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション蔵)  
撮影・長塚秀人



4 【初公開】南桂子直筆原稿「チロ星」  
(ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション蔵)  
撮影・長塚秀人



5 谷川俊太郎  
詩集『うつむく青年』  
山梨シルクセンター出版部  
1971年(装幀/装画・南桂子)



6 銅版画 南桂子《2人の少女と蝶》1979年 エッチング、サンドペーパー 32.0×28.3cm (ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション蔵)



7 展覧会チラシ

※6はトリミングしないでください。  
※6・7をインターネット上へ掲載の際には2次使用防止のため本館ロゴを被せた画像をお使いください。

## 「没後 20 年 詩と出会う旅 南桂子の世界展」 広報用画像貸出申請書

高志の国文学館事業課 広報担当 行  
FAX 076-431-5490  
E-mail akoshinokuni@pref.toyama.lg.jp

展覧会広報用の画像を貸出しております。ご希望の際は、下記の貸出条件をご確認のうえ、本書に必要事項をご記入いただき、FAX または E-mail にてお申込ください。E-mail の添付にて JPEG あるいは TIF データで画像をお送りいたします。

### 【広報用画像貸出条件】

- ◎画像は展覧会紹介の目的のみにてご使用ください。
- ◎画像に文字を重ねるレイアウトはお控えください。
- ◎画像データは、ご使用後かならず破棄してください。
- ◎画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◎インターネット上へ掲載の際には本館ロゴ（白か黒）を被せた画像をご使用ください。

御社名 : \_\_\_\_\_

御担当者名 : \_\_\_\_\_

E-mail アドレス : \_\_\_\_\_

電話 : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_

掲載誌名・番組名・Web サイト名 : \_\_\_\_\_

発行・放映・掲載予定日 : \_\_\_\_\_

申込画像（ご希望の画像をチェックしてください。）

- 画像 1 南桂子 1950 年代パリのアトリエにて（ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション蔵）
- 画像 2 生前に蒐集したアクセサリー（ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション蔵）
- 画像 3 手書きの原稿が詰められていた巾着箱（ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション蔵）
- 画像 4 【初公開】南桂子直筆原稿「チロ星」（ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション蔵）
- 画像 5 谷川俊太郎 詩集『うつむく青年』山梨シルクセンター出版部 1971 年  
（装幀/装画・南桂子）
- 画像 6 銅版画 南桂子《2 人の少女と蝶》1979 年 エッチング、サンドペーパー  
32.0×28.3cm（ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション蔵）※トリミング不可
- 画像 7 展覧会チラシ